

## nicocare (ニコケア)とは？

介護事業所の書類作成業務をAIで劇的に効率化するクラウドサービス。



アセスメント → ケアプラン → 各サービス計画書 → 日々の記録  
介護業務の書類フロー全体をAIがサポート

全て介護事業所を20年以上運営する主任ケアマネジャー(保健師資格保有)が監修。

現場を知り尽くした専門家の知見を注ぎ込んだ独自AIによる書類作成業務の自動化でケアの質を高めます。

### 主要機能一覧

#### アバター機能 (AIプロファイル生成)

利用者の書類をAIが読み取り、ひとりひとりの「構造化プロファイル(アバター)」を自動生成する、nicocare独自の機能。  
利用者の画像をアップロードするだけで、AIが情報を自動で構造化します！

- 例、
- 基本情報 (氏名・年齢・性別・生活状況・要介護度)
  - 生活歴・価値観 (生育歴・職業歴・趣味・本人が大切にしていること)
  - 医療情報 (主傷病名・医療リスク・通院・服薬状況)
  - 生活機能 (ADL/IADL・認知機能・コミュニケーション・心理社会的状況)
  - ニーズ・課題 (主要ニーズ・課題の背景・リスク管理)
  - 目標・援助方針 (長短期目標・本人/家族の意向)
  - 家族・介護者情報 (家族構成・キーパーソン・介護負担)
  - 住環境・地域資源 (住宅環境・福祉用具・地域資源)
  - ケア履歴 (要介護度の変遷・主要ライフイベント)
  - ACP (アドバンス・ケア・プランニング) (看取り・終末期に関する意向)

#### 3Dアバターアイコンで 作成状況を視覚的に確認できる！

アバターは利用者一人ひとりの「人となり」を深く理解するためのデータ基盤です。アバターがあることで、AIが生成するすべての書類が利用者に合わせて個性の高い内容になります。「その人らしさ」が反映された書類を自動生成できます。

一度アバターを作成すると、アセスメント・計画書・記録・議事録などすべてのAI生成時に自動で参照！

ここが  
すごい！

#### アセスメントAI作成

利用者の状態把握に必要なアセスメント文書をAIが自動生成。

59種類の情報ソース(訪問介護・デイサービス・病院等)と37種類の職種に対応した構造的な情報入力PDF・画像をアップロードしAIが内容を読み取り、分析します。

- 72種類以上の参照媒体に対応し、アセスメントの根拠を明確化
- 利用者の意向をAIが分析する機能も搭載
- アバター(利用者プロフィール)と連携し、利用者像を踏まえた分析が可能

ここが  
すごい！

厚労省様式に準拠した情報ソースコードを内蔵。

20年以上の現場経験を持つ主任ケアマネ・保健師が監修したプロンプトにより、医療的視点と介護的視点の両面からバランスの取れたアセスメントが生成されます。

#### 居宅介護計画書(ケアプラン)の作成

居宅介護計画書(第1表・第2表・第3表)をAIが自動生成します。

アセスメント結果からAIがサービスの組み合わせを自動提案します。利用者・家族の意向、ニーズ、長期目標・短期目標や週間スケジュール(第3表)も自動作成します。また、各種加算設定に応じて記載内容を自動調整したり印刷テンプレートで第1表～第3表をそのまま出力することも可能です。

ここが  
すごい！

AIでアセスメントからケアプランまで自動作成。  
早く、正確に、記録まできちんと完了。

加算設定を変えるだけで計画書の記載内容が自動で変わります。ニーズの抽出から目標設定、サービスの組み立てまで、実地指導でも評価される水準の計画書が生成されます。

## 各サービス計画書AI(標準版 / Pro版)

居宅介護計画書(第1表・第2表・第3表)をAIが自動生成。

他にも・・・

- 通所介護計画書・訪問介護計画書など、各事業所が作成義務を負う計画書をAI自動生成。
- 居宅介護計画書(ケアプラン)と自動連携してデータ引き継ぎ
- 機能訓練加算・栄養加算等の加算ごとに計画内容を自動調整
- 各目標の「根拠(エビデンス)」を自動付記
- 同意書署名画像のアップロード・管理計画書の評価記録機能

ここが  
すごい！

AIプロンプトに監査対応品質の品質管理ルールを内蔵。

「適宜」「様子を見る」等の禁則語を自動チェックし、計画期間の整合性も自動検証。行政の実地指導で指摘を受けられないレベルの具体性・整合性を持った計画書が自動生成されます。

## 会議アシスタント(録音AI文字起こし)

会議音声を録音 → 文字起こし → 議事録をAIが自動生成。



ブラウザだけで録音が可能(専用機器不要)

- 録音音声から「誰が話しているか」をAIが自動判別し、アイコンで発言を視覚的区別
- AIが発言内容や文脈から話者の名前・役職を自動推定
- 話者名・役職はインライン編集で簡単に修正可能(同一話者の全発言を一括更新)
- 追加録音時は既存の話者マッピングを自動引き継ぎ、一貫性を維持
- カテゴリ別キーポイント・アセスメント・今後の方針・合意事項・安全管理・評価等を自動整理可能。また、AIで議事録を自動生成します
- ACP(アドバンス・ケア・プランニング)フィールドにも対応

ここが  
すごい！

複数人が参加する会議でも、AIが「誰の発言か」を認識し話者名付きの文字起こしを生成。

会議を録音するだけで、サービス担当者会議記録・モニタリング記録・支援経過記録など、会議タイプに応じた書式で議事録が自動生成されます。会議後の記録作成が約半分の時間に短縮されます。

## 一括記録作成(通所系 / 居宅系)

複数利用者 × 複数記録タイプを一度にまとめてAI生成するバッチ処理機能。

ここが  
すごい！

毎月発生する利用者全員分の記録作成を数クリックでまとめて生成。

通所系で生成可能な記録：5種類同時対応  
状況報告書 / モニタリング記録 / サ責からの指示助言 / ケア記録 / 連絡帳  
居宅系で生成可能な記録  
支援経過記録 / モニタリング記録  
(達成度・満足度・見直し要否等を含む)

- ・各記録の開始日・期間・間隔・文字数を個別設定可能
- ・候補を複数提案し最適な文案を選択
- ・設定は自動保存

1人あたり15～30分かかっていた作業が、全員分まとめて数分で完了。複数候補から選べるので、AIに丸投げではなく適切な文案を選択できます。アバター機能との連携で利用者ごとの個性が反映された記録が一括で生成されます。



## 内部監査チェック(各サービス計画書)

書類作成のコンプライアンスを自動チェックする内部監査支援機能

ここが  
すごい！

運営指導・監査の前に慌てて書類を整理する必要がなくなります。

利用者ごと・計画書ごとに以下を自動チェック

- アセスメントの実施・紐づけ状況
- 同意署名の取得状況
- 評価の実施状況
- 状況報告書の月次作成状況
- 照会・サービス担当者会議記録の実施状況
- 各タスクの期限・緊急警告日数をカスタマイズ可能
- 未完了タスクを優先度(緊急・高・中)で色分け表示

日常的に書類の抜け漏れをシステムが自動チェックし、期限が近いものを色分けて警告。「何をチェックすべきか」を熟知したケアマネジャー・介護職・管理者等の実務知見を、チェック項目の設計に反映しています。